

地域ネコや野良ちゃんはどこから来たのですか？

SCR協会会長 獣医学博士 鷺塚貞長



地域ネコや野良ちゃんは、空から降ってきたのでもなければ、地から湧いてきたのでもありません。元はといえば、人間の身勝手な無責任な違法行為により捨てられたのです。動愛法では捨てただけで50万円以下の罰金、動物をみだりに傷つけたり殺した者は懲役1年以下もしくは100万円以下の罰金です。

野良ちゃんの一部が、公園や寺の境内また一定の地域になじみ、特定の複数の人達によって管理されているのが『地域ネコ』です。しかしながら、その繁殖行動は自由奔放で、1頭のメス猫は単純計算で生涯に60頭余の子猫を出産しますので、成り行きに任せると、その数はネズミ算に近い増加をします。

世の中には絶対的にネコの嫌いな人達が存在します。糞、尿、車のボンネットに上がるなどがトラブルの主なもの。小さなカリン糖のような糞は、ネコババといってネコには糞を土に埋める習性があるのですぐに分解しますし、尿は少々臭いですが少量です。また喧嘩以外は爪を隠して行動しますので、ボンネットには傷がつかず、可愛い足跡が残るくらいです。(タイヤの爪とぎはちょっと問題ですが)しかしながら、ネコ嫌いの人達は、理屈抜きでネコのあらゆる行動が嫌なのです。そこで、哀れに思いエサを与える人達との間に深刻なトラブルが生じ、ほとんど水と油の論議で、なかなか接点が見つかりません。

もう一度原点に戻って考えてみましょう。地域ネコや野良ちゃん問題は、人間が仕出かした犯罪行為(動愛法…動物を遺棄した者は50万円以下の罰金)がスタートです。

ならばみんな責任を取らなければなりません。難しい接点を見つけるひとつの有効な方法は、避妊・去勢によりネズミ算的增加を防止することです。

SCR協会(Street Cat Resucue Society)は、

- ①保護し、手術のために病院に連れて行く人の、善意と労力
- ②篤志家の寄付金やバザー協力
- ③特別低額手術料金

この3本柱を基本理念地として有志が集まり2005年8月にスタートしました。

手術済みのネコちゃんには、誰にでもわかるように、シンボリックにメスには赤●、オスには黄色●のピアスをつけます。外で暮らすネコ達は室内飼いに比べ、感染症・交通事故の確率が高く短命なのです。

ネコ嫌いのみなさん、みんなで数の制御に努力しているのですから、好きにならなくてもいいです、せめてこの薄幸な子達を暖かく見守ってください。

お願いします……

事務局 〒466-0834 名古屋市昭和区広路町松風園62-2
TEL 052-831-4540 FAX 052-831-4552
銀行口座 三菱東京UFJ八事支店(266) 普通預金3643342
SCR協会 会長 鷺塚貞長